

庚申山春まつり



標高1,892mの庚申山は、ハイキングコースや登山道が整備され、美しい自然を満喫できる名所として人気があります。毎年春と秋には、登山者などの安全を祈願する祭りが開催されています。5月20日(土)、21日(日)には春まつりが行われました。

山の中腹にある山荘では、特別護摩焚などの神事が行われ、登山者の安全が祈願されました。また、甘酒のサービスも行われ、登山者は、のどの渇きと疲れを癒やしていました。

巡回舞踊公演



次代を担う中学生に芸術に触れる喜びを体験してもらおうと県教育委員会が実施しているものです。5月24日(水)と26日(金)、市内の中学校、3校で行われました。

公演は日本舞踊と現代舞踊、クラシックバレエの3部で構成され、それぞれ演技と解説の後、生徒自らが公演に参加し、楽しみながら舞踊を鑑賞しました。

春季例大祭・百物揃千人武者行列



5月17日(水)、18日(木)の2日間にわたって、日光東照宮春季例大祭が行われました。約120あるといわれる東照宮の年間行事の中で最も盛大なものです。さまざまな神事が執り行われますが、一番の見所は18日に行われた百物揃千人武者行列です。これは、徳川家康公の神霊を駿府久能山から日光へ改葬した際

の行列を再現したものと伝えられています。江戸時代には、4月17日の命日に行われ、京都から例幣使が遣わされていました。神馬や神輿など千人を超える行列が二荒山境内から表参道を通り、御旅所までの約1kmを渡御しました。詰めかけた大勢の観光客は、壮麗な歴史絵巻を楽しんでいました。

今市田植祭



5月28日(日)、大室で今市田植祭が開かれました。民謡グループ「民謡瑞豊会」が毎年開催し、今年で31回目。昔の田植え風景を再現し、毎年多くの見物客が訪れる伝統行事で、市の無形文化財に指定されています。農耕馬を使って田んぼをゆつくりとかき回す間、今市苗取唄なえちりうたに合わせ、あかねだすきにかきりのもんぺ姿の早乙女さむえが苗を株分けしました。株分けが終わると、



会員が今市田植唄を歌う中、早乙女や子どもたちが昔ながらの方法で苗を植えていきました。30年ぶりの雨という、あいにくの天気でしたが、会員の方は「田植えに天気は関係ありません。たとえ雨が降っても、決められた日には田植えをするものなのです」と語ってくれました。